



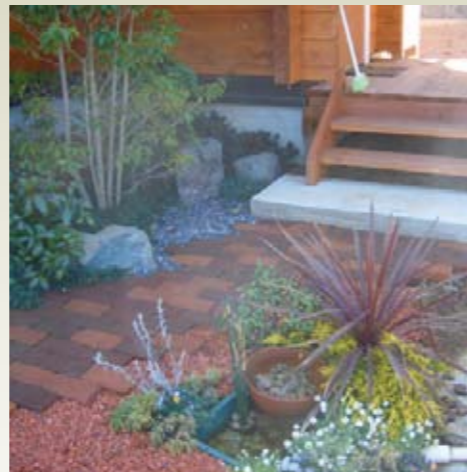
自慢の庭はーデニングがご趣味の奥様の三穂さんが毎日手入れを欠かさない



2階の吹き抜けには「こだわった」と高桑さん

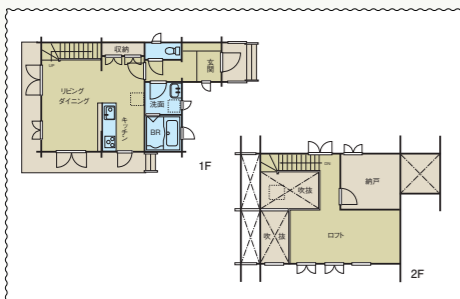


自慢のエクステリア。小物もおしゃれ



ウッドデッキはおてのもの！

ログハウステータ



■延べ床面積：71.4㎡  
 ■メーカー：イーストログハウス  
 ■お問い合わせ：0120-531-331

たですね、検討して1年後には今の家に住んでいました(笑)。  
 複数のログハウスメーカーに相談した高桑さんが最終的にイーストログハウスに決めたのは、「自由設計で融通がきいたから」と、おっしゃいます。  
 「仕事柄、ウッドデッキを組み立てる機会が多く、ログハウスも建てられるかも、と一瞬思いましたが(笑)、やはり建てるのはプロにお任せしました。ですが、キッチン収納や脱衣所の洗面台など、既成のものでは何となくしっくりこないところは、自分でデザインして施工しました。もちろん、ウッドデッキや庭などのエクステリアも自作です。居心地がよく、うちにいるのが一番、と思える理想の家になりました」。



case 11  
 千葉県  
 高桑さん

こだわるところはデザインから  
 施工まで自分の手で



うちにいるのが大好きになる家を求めたらログハウスに行き着いた  
 造園業を営んでいるオーナーの高桑和敏さんは、一時期、スノーボードに夢中になり、新潟に住んだこともあるそうです。  
 「私も妻もよくスノーボードをしに山に行っていました。その時に、ログハウスの山荘や別荘を見かけていたので、ログハウスはそういう建物だ、と思っていたんです。つまり、一般住宅用には建てられない構法なんだ、と。  
 ずっとそう思い込んでいた高桑さんが、ご自宅をログハウスにしたのは、どういうことがきっかけだったのでしょうか。  
 「家を建てようか、という話が持ち上がったとき、普通の建築の家ではどうもピンとこなかったんです。どんな建材が使われているのか、わからないような建て売り住宅などは論外でした」。  
 いろいろな住宅メーカーを検討してはみたのですが、どこも決め手に欠け、他に何かないかと悩んだ結果、思い浮かんだのが、以前、山の中で見たログハウスだったそうです。  
 「広い敷地ではないので無理かもしれないと思いつつ詳しく調べてみたところ、普通の住宅でもまったく問題のないことがわかりました。そうとわかればあとは早かったです」。